

川越市マスコットキャラクター ときも 着ぐるみ装着要領

1：事前確認

- 装演者1人、アテンダント（随行補助者）1人を最小限の人員とする。
- 幼児が集まるイベントはアテンダントを2人以上とする。
- 装演者とアテンダントは着ぐるみ装着要領を熟知しておく。
- イベントなどの演出、進行等について十分に打ち合わせを行う。
- 関係者以外立ち入り禁止、外から見えない控え室を確保する。
- 控え室は搬入、着替え、装着後の出入りができることを確認する。
- 着替え場所は清潔な場所にシートなどを敷き、着ぐるみを直接地面に置かない。

2：運搬

- 運搬時は2人以上の人員を確保し、慎重に取り扱う。
- 搬入・搬出に当たり、着ぐるみであることがわからないようにする。
- 移動の際は着ぐるみに積み重ねないで運べる車両を用意する。
- ボディ（特に眼部分）が外部のものとこすれ合わないようにする。

3：着ぐるみの説明

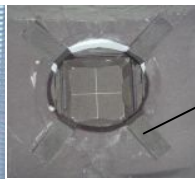
構成	ヘッド（時の鐘）	*正面・左右がのぞき窓になっています。
	ボディ（顔）	*下から入って着用します。
	上スーツ	*手袋一体型ボア入り上着（手袋取り外し不可）
	下スーツ	*ボア入り長ズボン。
	シューズ	*サンダル状になっています。
	収納袋	

- 取り扱い ●火気厳禁
●雨天時の屋外使用厳禁

3：着替え

- ①ボディにヘッド（時の鐘）を載せ、内側のマジックテープを留める。
 - ②下スーツを着用し、シューズをはく。
 - ③上スーツを被り、アテンダントにフロントファスナーをあげてもらう。
 - ④ボディの下から入り頭をヘッドに入れ、腕をボディから出す。
- *休憩時はヘッドのマジックテープを内側からはずしてとることができる。

①



【内側】

マジックテープで固定

ボディにヘッドを載せ、内側のマジックテープを留める。

②



※着用前に、必ず長袖Tシャツ、薄手の長ズボン、綿靴下の服装を着用すること！



下スーツを着用し、シューズをはく。

シューズにはR、Lの表示あり

③



※必ずタオル・手ぬぐい・バンダナ等を巻くこと

上スーツを被り、アテンダントにフロントファスナーをあげてもらおう。

※マスクは必要ありません

④



ボディの下から入り頭をヘッドに入れ、腕をボディから出す。

4：装演者について

装演者は身長160センチメートル前後が望ましい。

■服装

- 頭には必ずタオル、手ぬぐい、バンダナなどをまく。
- 内部は高温多湿のうえ、上下スーツを重ね着するため、体に密着した服装を着用する。例：長袖Tシャツ、薄手の長ズボン、綿靴下。
- 衛生面を考慮し、素足でシューズを着用しない。
- 肌が直接胴体部分に触れないように心がける。
- 裸眼かコンタクトとし、眼鏡の場合は曇り止め、眼鏡バンドを装着する。
- アクセサリーは外し、化粧は落とす。

■装演

- 1回の装演時間は30分以内とし、必ず休憩を取る。
- 行事が長時間に及ぶ場合は装演者を複数体制とし順次交替する。
- 睡眠不足・二日酔いは厳禁とし、体調の悪いときは交替する。

5：装演者の注意事項

- 装着前に必ず適度な準備運動をする。
- 視界および動作を確認し、周囲への注意を怠らないようにする。
- お客様がいるところ、見ているところでは着ぐるみの着脱は行わない。
- 演技中は声を発しない。
- 30分ごとの休憩を基本とし、無理・無茶な行動はしない。
- 炎天下での装演は時間を調節し、必ず水分補給を行う。
※装演者が管付きのペットボトルホルダーを携行して装着できる。
- 緊急の場合に備え、アテンダントへのサイン等を決めておく。
- 乱暴な行為を受けた際もアテンダントへのサインで対処する。
- 着ぐるみ装着時は休憩中であっても喫煙は厳禁。
- 燃えやすい材質のため火気には絶対近寄らない。
- 靴の幅を意識し、足を肩幅程度に開き、すらないように持ち上げて歩く。
- 自分の下、死角に子どもがいないか注意する。
- 絶対に走らない、階段を通行しない（事故、けが、破損につながる）。
- 演技は大きな動きを心がける。
- 必ずアテンダントの指示に従う。
- キャラクターのイメージを損なわないようにする。

6：アテンダントの注意事項

- アテンダントは必ず1人以上つけ、常にときもと周囲に注意を払う。
- アテンダントは指定の半天を着用（半天はクリーニング後返却）する。
- 装着後に装着の状況、破損・汚れの有無をチェックする。
- 装演者を呼ぶときは「ときも」といい、無駄な話をしない。
- ときもとは並列の位置にいて、ときも目線で対応できる距離を保つ。
- 装演者は視界が限られるため、絶えず周囲に気を配り、状況を知らせる。
- 交流のため積極的にゲストに語りかける（アテンダントはときもの分身）。
- 移動や上演時の補助、握手や写真撮影の際の整理を行う。
- 出演時間・進行管理をしっかり行う。
- 着ぐるみに危害を加えるお客様にはハッキリとやさしく注意する。

7：収納

- ヘッドとボディの内側を硬く絞ったウエスで水拭き後に乾拭き、乾燥させる。
- 上下スーツについては、クリーニングする。（代金は自己負担）
 - ※クリーニングにかかる時間を踏まえ、早めにクリーニング店等に出してください
- 上下スーツ以外については、消臭・殺菌スプレー（ファブリーズ）する。
- シューズ底の汚れを拭き取り、収納袋に収納する。
- 時の鐘、上下スーツ（クリーニング後）もそれぞれ収納袋に収納する。
 - ・黄ひも→シューズ（1足ずつ）
 - ・赤ひも→時の鐘
 - ・白ひも→上下スーツ
- 全て収納袋に入れたら、プラケースに収納する。
- 丁寧に収納、運搬を心がけ、転がしたり引きずったりしない。

8：トラブル

- 汚れたり、破損したりした場合は使用を中止する。
- トラブルがあった場合は観光課に連絡する。

9：返却

- 返却にあたり、使用後の状況を観光課職員とともに確認する。
- 様式第4号「着ぐるみ使用状況報告書」を撮影した写真等とともに提出する。